

	規模・ミッション等が異なり、定量的な比較は意義が認められない。
健栄研	・当研究所と同等の研究目的を有し、単独活動している栄養研究所は先進国では限られている。このうちドイツとイタリアの研究機関を対象として検討を行う予定。また、類似機関を持つ研究機関については、その研究レベル、実績等からベンチマーキング対象とはなり得ない。
安衛研	・当研究所は、行政ミッション型研究機関であり、論文の多寡や外部資金獲得額といった研究機関の一般的な評価指標での比較は、必ずしも適切ではないため。
循環器病センター	・ベンチマーク対象機関選定も含め、調査中。
成育医療センター	・NICHD(NIHの1組織)は研究分野としては同じで良いベンチマークであるが、規模ははるかに大きく、研究費配分機能も持っている。一方当センターは病院を持つため単純には比較できない。今後比較を行うための検討を進める。
農研機構	・平成23年度より国際比較が可能な研究分野を特定し、海外の評価者を招へいして研究の質的評価や今後の研究方向の妥当性について評価する。今後は、当該評価結果等を踏まえて、ベンチマーキング実施の可能性を検討したい。
JIRCAS	・設置目的や活動内容研究推進の体制・制度が異なる。
産総研	・3機関は、設立目的、予算状況、対応する研究分野等が産総研と異なるため、ベンチマーキング結果に基づく改善は実施していない。 ・但し、平成21年度より開始した包括的研究協力覚書機関との連携に関するレビューを通し、相互が強みとする研究分野や共同研究といった連携可能性のある次期テーマの抽出により、更なる連携・交流を図るべく、これらの調査結果を活用することを検討している。
JOGMEC	・国営の地質調査所などの機関は鉱業に関連した研究開発や地質調査を主な業務とする機関であり、類似した研究及び調査を行っているものの、当機構は民間企業の資源開発支援や鉱害防止支援の一環として研究を実施しており、研究目的が異なることから、比較が困難である。
交通研	・自動車、鉄道等の安全性能、環境性能に関する調査研究等を同一組織で行っている機関が存在しない。
海技研	・船舶の安全確保、海洋環境保全等に関する研究を同一組織で行っている機関が存在しない。
港空研	・ベンチマーキングも調査予定。

設立までの経緯

(H13.4独法化)

(H16.4独法化、統合)

(H23.3)



